

高校生「橋梁模型づくり」コンテストって何？

将来の社会資本整備を担う土木系の高校生に、模型づくりを通して橋の種類や構造に関する知識を深め、ものづくりの楽しさや創意工夫を体験していただこうと、高校生「橋梁模型づくり」コンテストを平成14年度から開催しています。

平成19年度 高校生「橋梁模型づくり」コンテストの概要

主催：高校生「橋梁模型づくり」コンテスト実行委員会（委員長：東北地方整備局 東北技術事務所長）
構成団体：東北地方整備局、(社)東北建設協会、(社)日本橋梁建設協会、(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会東北支部
後援：河北新報社、NHK仙台放送局
今年度で6回目の開催となり、今年も東北6県で広く作品の募集を行いました。

1 募集要領

(1) 目的

土木技術を学び将来の社会資本づくりを担う高校生に、模型づくりを通して橋の種類や構造に関する知識を深めていただくとともに、ものづくりの楽しさや創意工夫を体験してもらうために実施したものです。

(2) 応募資格

東北6県の高等学校で土木を学ぶ生徒。個人・グループの別は問いません。

(3) 作品の課題

橋梁の種類・型式は問いません。

- ①国内外を問わず、実在する橋・過去に存在した橋の模型
- ②実際にはない型式・構造の橋、夢のある橋

(4) 作品の大きさ

長さ：1.5m以下 平面積（土台含む）：0.5㎡以下
高さ：1.0m以下

(5) 材料・製作

材料は応募者が準備する。（使用材料の制限は無し。）
接着剤や釘・ネジ等の使用、着色や素材の風合いを生かす加工なども自由です。

(6) 応募期間

平成19年8月下旬～9月28日（金）

(7) 作品提出期限

平成20年1月16日（水）

2 応募状況及び審査結果

東北6県の29高校から過去最高数となる64作品の応募がありました。

平成20年2月7日（木）には審査会が行われ、8名の審査員※の方が、完成度、アイデア、デザイン、強度、耐久性、技術度などの項目を総合的に審査し、最優秀賞1点、優秀賞2点、アイデア賞1点、デザイン賞1点、努力賞5点を決定しました。

※審査員

| | |
|----------------------------------|-------------|
| 東北学院大学工学部環境建設工学科 特別教授 | 樋渡 滋（審査委員長） |
| (社)日本橋梁建設協会 本部技術部長 | 吉川 宏史 |
| (社)プレストレスト・コンクリート建設業協会 東北支部 副支部長 | 小倉 迪郎 |
| (社)東北建設協会みちのく国づくり調査室長 | 永澤 新作 |
| 河北新報社 編集局次長 | 相田 三郎 |
| 東北地方整備局 企画部 技術調整管理官 | 宮田 忠明 |
| 東北地方整備局 道路部 特定道路工事対策官 | 鎌田 一幸 |
| 東北地方整備局 東北技術事務所長 | 三浦 清志（敬称省略） |

◆平成19年度

高校生「橋梁模型づくり」コンテスト表彰式

・日時／平成20年2月22日（金）

・会場／仙台ガーデンパレス

仙台市宮城野区榴岡四丁目1番5号

◆平成19年度

高校生「橋梁模型づくり」コンテスト作品展示会

・日時／平成20年3月3日（月）～9月下旬まで（土、日、祝日除く）午前9時～午後4時

・会場／東北技術事務所 展示館

多賀城市桜木3丁目6-1 TEL022-365-8047

◆高校生「橋梁模型づくり」コンテストの作品については、東北技術事務所ホームページ（アドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/tougi/>）でもご覧いただけます。